


海外派遣研修助成事業による研究の成果

研究者氏名	藤原紀子 
所属機関	特定非営利活動法人 JORTC
<ul style="list-style-type: none"> ・研究に従事した外国の研究機関名 ・参加した国際学会・会議名 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 9th Annual IACRN Conference International Association of Clinical Research Nurses ✓ Georgetown University Medical Center Clinical Research Unit
渡航期間	自 2017年10月17日 至 2017年10月27日
<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容 ・国際学会・会議内容 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第9回 IACRN の国際パネルディスカッションのパネラーを務め、支部委員会ミーティングに出席。5 か国の臨床研究に関わる看護師と情報交換を行った。 ✓ 米国臨床研究の拠点である Georgetown University 病院の臨床研究病棟を訪問
<p>研究成果（要約：800字）</p> <p>H29.10.18 から 20 まで Renaissance Providence Downtown Hotel, Providence, Rhode Island USA にて行われた第9回 Annual IACRN Conference International Association of Clinical Research Nurses に出席、日本の臨床研究と研究にかかわる看護師の役割について情報発信を行った。5 カ国の看護師が参加しており、臨床研究についての国別の実施状況やその相違点、新しい動きなどの知見を得、情報交換とネットワークづくりを行った。さらに、支部委員会の会議に参加し、IACRN 日本支部の活動状況を報告した。IACRN は、米国メンバーを中心とし、英国・アイルランド・スペイン・南アフリカ・中国・台湾などからも参加がある、臨床研究に関わる看護師の唯一の国際学会である。今年のテーマは、「Clinical Research Nursing: Incorporating Professional Scope and Standards to Advance the Coordination and Care of Research Participants」であった。2016年、米国看護協会が臨床研究看護を正式に看護の専門領域として認めると公表し、IACRN と協働で、臨床研究看護領域の基準（Scope and standards Practice）を出版した。今年は、こうした看護基準を実際にどう活用するかについて、各基準ごとにグループになり、ワークショップでアイデアが出された（それぞれテーブルごとに基準が決められていたため、全部を統合し後日配布される予定）。</p> <p>国際パネルディスカッション（Plenary Session - Using CRN Scope and Standards to Guide Practice: An International Perspective）では、NHS（UK）のディレクターである、Hamer氏が座長で、アイルランド、中国、日本から、臨床研究に関わる看護師の現状、レギュレーション、臨床研究看護師の教育、看護基準の応用についてプレゼンテーションを行った。2016年に出された臨床研究の看護基準は、様々な文化を背景に少しずつ導入が進められている。</p> <p>翌週は、Georgetown University Medical Center（GUMC）の臨床研究病棟を訪問した。米国における Clinical and Translational Science Award（CTSA）プログラムのサポートを受けており、Howard University と協働している。GUMC 臨床研究病棟では、臨床研究に関わる看護師の役割と看護管理者の役割、臨床研究看護に関連する教育について学んだ。Howard University では、患者アドバイザリーボードに参加した。患者自らが研究者プレゼンをもとに研究実施状況について報告を受け、助言をする。事前に臨床研究についての教育も行われていた。</p>	